

創刊の辞

跡見学園が創立130年、跡見学園女子大学が創立40年を祝した翌平成18年、我がコミュニケーション文化学科は発足しました。世に大学経営の危機が懸念されて久しいなか、学園ならびに大学の、将来への進展を期した改革のひとつとして設けられた学科です。

コミュニケーションを名に持つ大学の学部・学科は、現在、人文科学系だけでも73に及びます。これは大学改革のなかから生まれた現象といってもよいのですが、また国際関係・人間関係などの情勢からおのずからに要請された結果だということもできるでしょう。こうしたなかで、我がコミュニケーション文化学科は文学部に属し、日本語を中心に、高度なコミュニケーション能力を身につけることをめざして設置された、最も後発の学科です。

実はコミュニケーション文化ということばは、いまだ一般に定着しているわけではありません。我々はこのことばを communication in culture と意味づけております。しかし、これをどのように明確化・具体化してとらえるかということは、学科の発足以来、模索を続けている状態です。つまり、コミュニケーション文化という領域はどのように学問として構築しうるのか、そしてそれを実効性ある教育活動としてはどのように展開できるのか、という課題を問い続けてきたのであります。

ここに初年度の締めくくりにあたり、それぞれが取り組んできた思考の一端を公表することといたしました。累年、これを続けることによって本学のコミュニケーション文化学科はなにを学ぶところなのか、を明らかにしたいとして小誌を刊行いたします。学の内外を問わず、諸賢の御叱正をいただければ幸いです。

平成19年3月18日

跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科